



## 重力マイクロレンズ

大栗 真宗

東京大学理学系研究科助教、Kavli IPMU准科学的研究員

ブラックホールなどのコンパクトな天体の存在量を調べる方法として、遠方の星の手前をそのようなコンパクト天体が通過することで起こる星の重力レンズ増光から推定する方法があります。この重力マイクロレンズと呼ばれる星の増光は、個々の星に対して起こる確率は非常に小さいですが、百万個以上の星の明るさを継続観測することで実際に観測することが可能です。最近のブラックホール合体からの重力波の発見に触発され、宇宙のダークマターをブラックホールで説明する理論研究や、ブラックホールの存在量や質量を重力マイクロレンズから観測的に制限する研究が再び活発になっています。

